



2011年3月期 決算説明会

2011年5月13日

JASDAQ:6467

株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION

<http://www.nichidai.jp/>

海外拠点

ネットシェイプ 事業

ニチダイ **単独**

- ◆主に自動車のエンジン・トランスミッション・駆動系部品などの成型に使われる**精密鍛造金型**。
- ◆切削なしに部品成型を行う**ネットシェイプがコア技術**。
- ◆自動車部品、エアコン部品（スクロール鍛造品）などの**精密鍛造品の量産**。
- ◆金型の設計・開発から部品生産まで手掛ける**トータルエンジニアリング力**が強み。



スクロール鍛造品



精密鍛造金型

ニチダイアジア（NDA）

- ◆タイに立地する**金型販売拠点**。

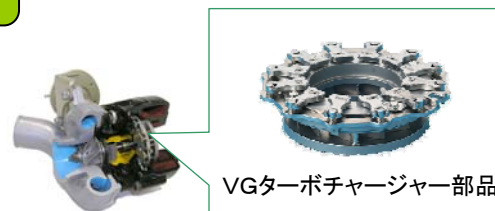
ニチダイUSA（NUC）

- ◆米国オハイオ州にある**金型販売拠点**

アッセンブリ 事業

ニチダイプレジジョン（NPC）

- ◆ディーゼルエンジン用 **VGターボチャージャー部品のアッセンブリ（組立）**。



VGターボチャージャー部品

ニチダイタイランド（NDT）

- ◆タイ・バンコク近郊にある**ターボチャージャー部品の生産拠点**。

フィルタ 事業

ニチダイフィルタ（NFC）

- ◆食品、医薬品、原子力、航空宇宙など、多様な産業分野で使われる**積層焼結金網フィルター**。



積層焼結金網フィルター

タイ・シンタート・メツシュ（TSM）

- ◆タイ北部・チェンマイ近郊に立地する**石油掘削用フィルターの生産拠点**。

I .11/3期実績

I .11/3期実績 — P/L:売上・利益の状況 —

単位:百万円

	10/3 実績 09/4-10/3	11/3 当初計画 10/4-11/3 10年4月発表	11/3 修正計画 10/4-11/3 11年2月発表	11/3 実績 10/4-11/3	伸び率
単独					
売上高	4,103	5,300	5,250	5,415	32.0%
売上総利益	556	1,244	1,170	1,220	119.5%
販売管理費	884	1,014	920	936	6.0%
営業利益	△ 327	230	250	283	—
営業外損益	△ 14	△ 80	△ 30	△ 12	—
経常利益	△ 342	150	220	271	—
当期純利益	△ 359	130	165	209	—
連結					
売上高	6,887	9,000	10,000	10,301	49.6%
売上総利益	923	1,750	2,030	2,181	136.1%
販売管理費	1,336	1,450	1,450	1,478	10.6%
営業利益	△ 412	300	580	703	—
営業外損益	△ 6	△ 100	△ 30	△ 21	—
経常利益	△ 419	200	550	681	—
当期純利益	△ 450	150	380	495	—

* 百万円未満切り捨て。

I .11/3期実績 — 四半期別業績推移 —

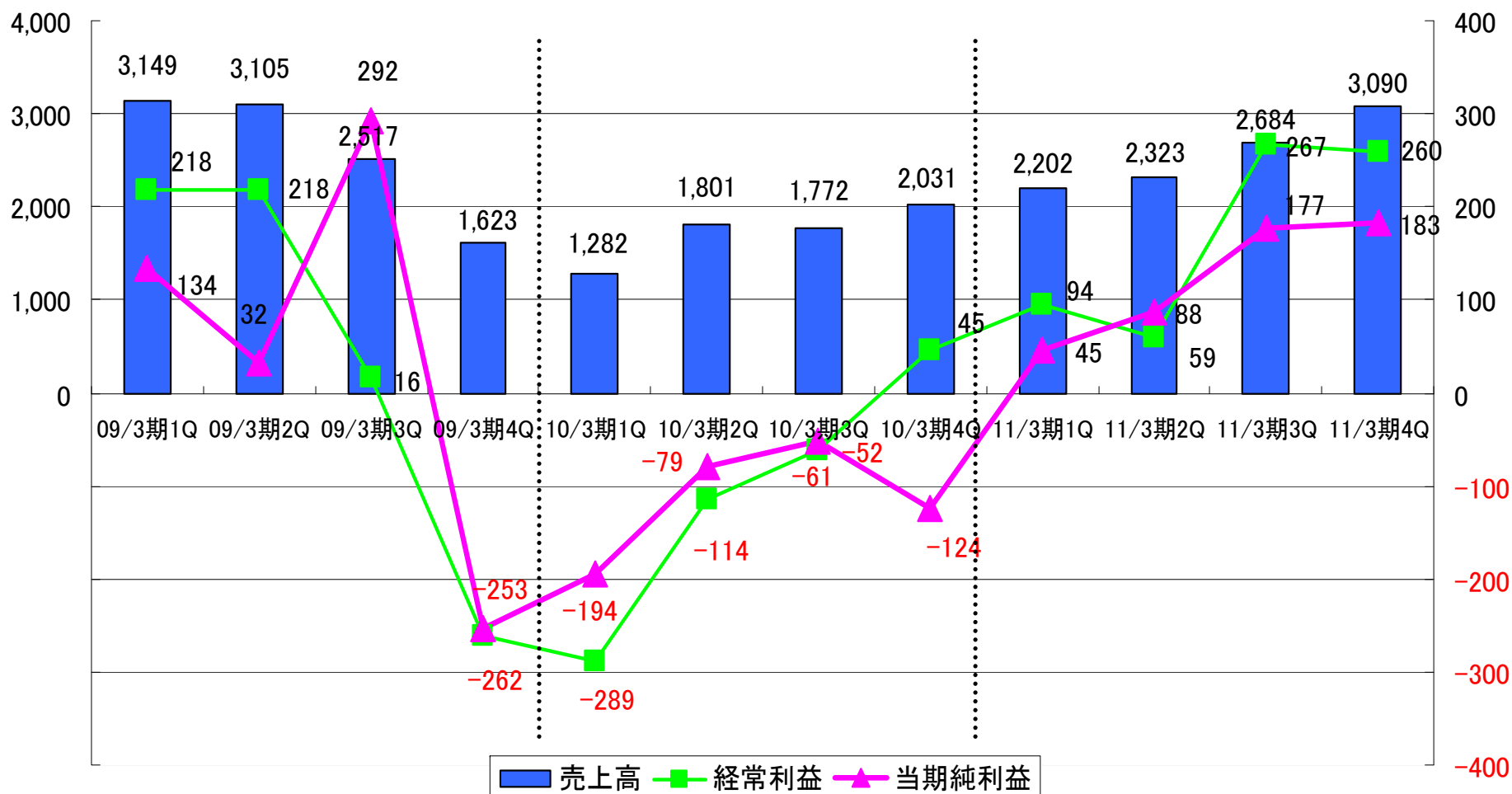
- ▶2011年3月期に入り、段階的な業績回復となる。
- ▶下半期に入り、リーマンショック前の水準まで回復。

売上高(左軸)

単位:百万円

経常利益・当期純利益(右軸)

単位:百万円



I .11/3期実績 — 事業別売上高の状況 —

連結

単位：百万円

事業	10/3 実績 09/4-10/3	11/3 当初計画 10/4-11/3 10年4月発表	11/3 修正計画 10/4-11/3 11年2月発表	11/3 実績 10/4-11/3	伸び率
ネットシェイプ	4,103	5,300	5,250	5,415	32.0%
アッセンブリ	1,847	2,750	3,660	3,749	103.0%
フィルタ	937	950	1,090	1,136	21.3%
連結計	6,887	9,000	10,000	10,301	49.6%

▶ 金型部門の売上高が伸長。

▶ 国内、タイ両拠点における売上高が大幅に増加。

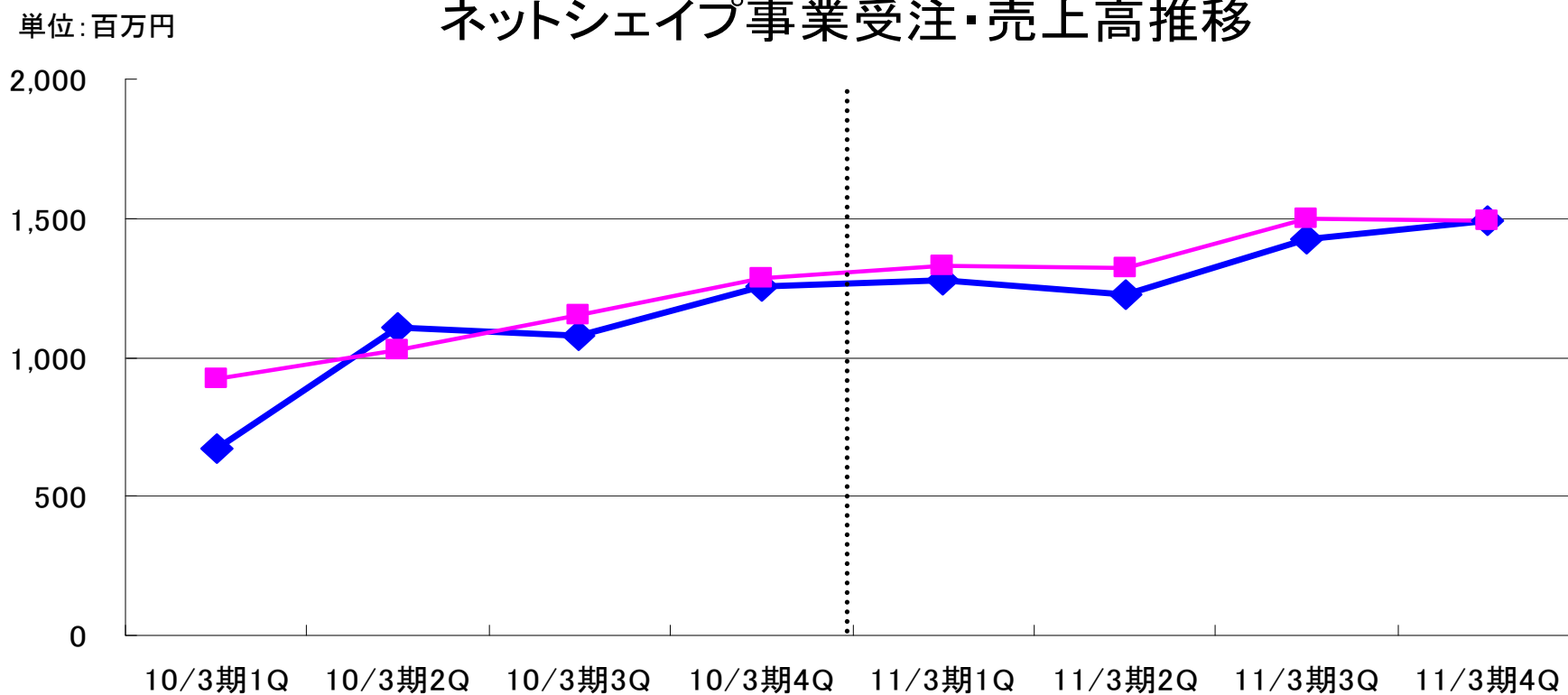
▶ TSMにおける石油掘削用フィルターが停滞するも、国内向けがカバー。

* 百万円未満切り捨て。

I .11/3期実績 — ネットシェイプ事業概況 —

- ▶ **金型部門**: 緩やかな業績回復となる。下半期に入り、国内部品メーカーの海外進出に伴う金型需要が増加し、売上高増加をけん引。
- ▶ **精密鍛造品部門**: 米系部品メーカー向け量産品が大幅な延期となったことから、計画を大きく下回る結果となる。

ネットシェイプ事業受注・売上高推移



* 百万円未満切り捨て。

◆ 売上高 ■ 受注高

連結

単位:百万円

	10/3 実績	11/3 実績	伸び率
国内	2,886	4,027	39.6%
海外合計	651	549	△ 15.6%
アジア	547	429	△ 21.5%
北米	88	112	26.5%
その他	15	7	△ 50.8%
金型	3,537	4,577	29.4%
精密鍛造品	566	838	48.1%
ネットシェイプ事業計	4,103	5,415	32.0%

■ 国内

- ▶ 金型需要回復による。
- ▶ 下半期より顧客の海外進出に伴う金型需要が増加。

■ アジア

- ▶ 前年度売上高には、ダイセットを含む。

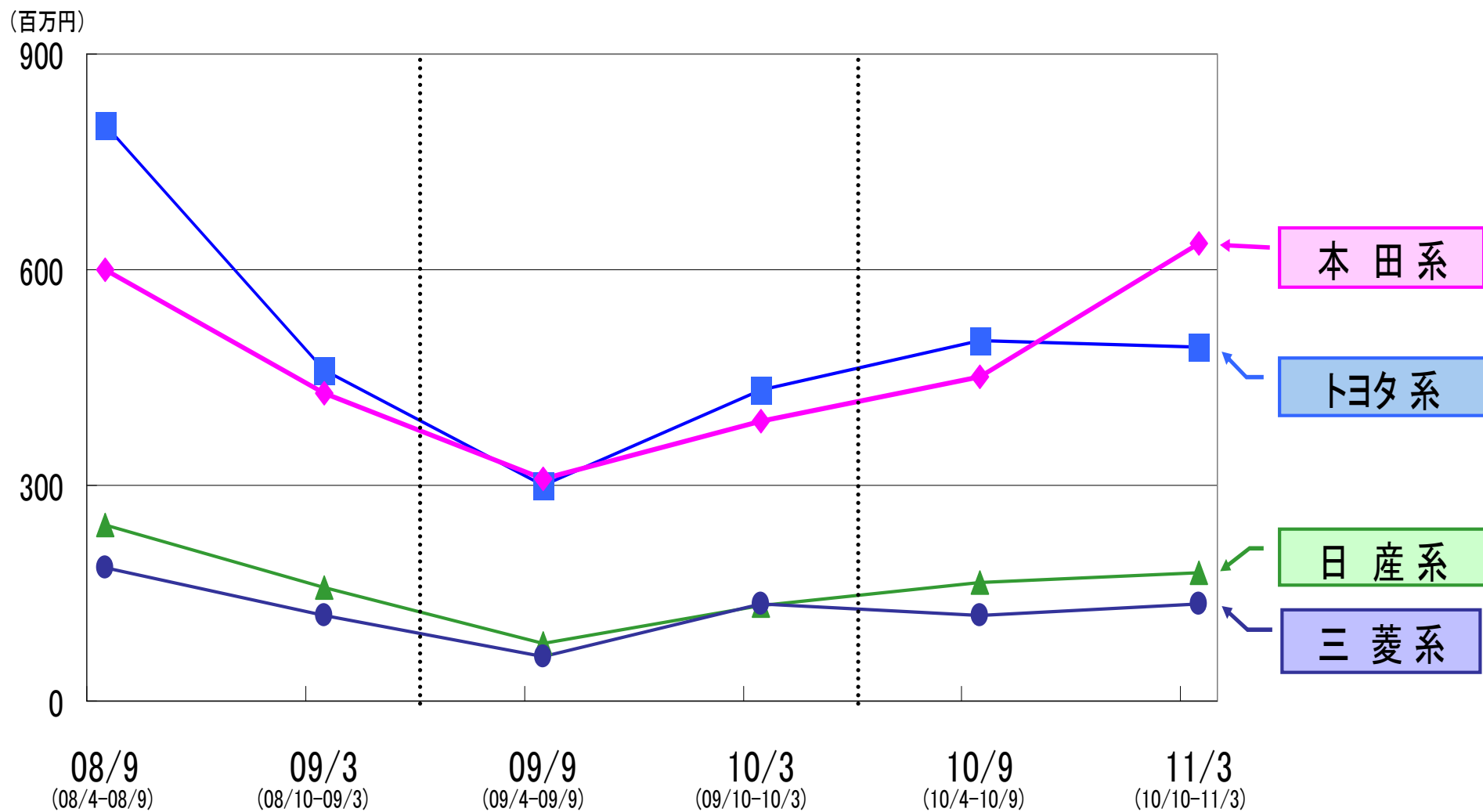
■ 北米

- ▶ 景況回復に伴い、売上高増加。

■ 精密鍛造品

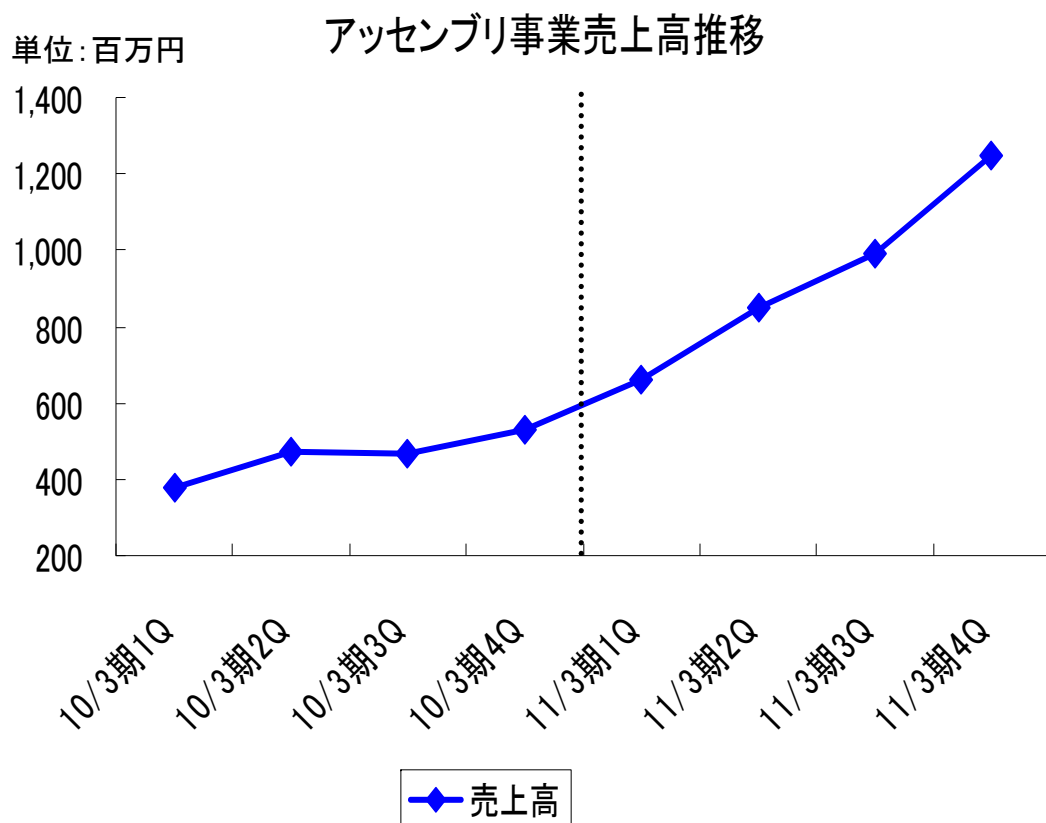
- ▶ 米系部品メーカー向け量産品が大幅に延期。その他の量産品は増加。

* 百万円未満切り捨て。



I .11/3期実績 — アッセンブリ事業概況 —

- ▶ 欧州自動車市場向けのターボチャージャーの需要が大幅に増加。
- ▶ タイの生産拠点NDTの量産が順調に立ち上がり、大幅な売上高増加となる。



国内外別売上高推移

単位: 百万円

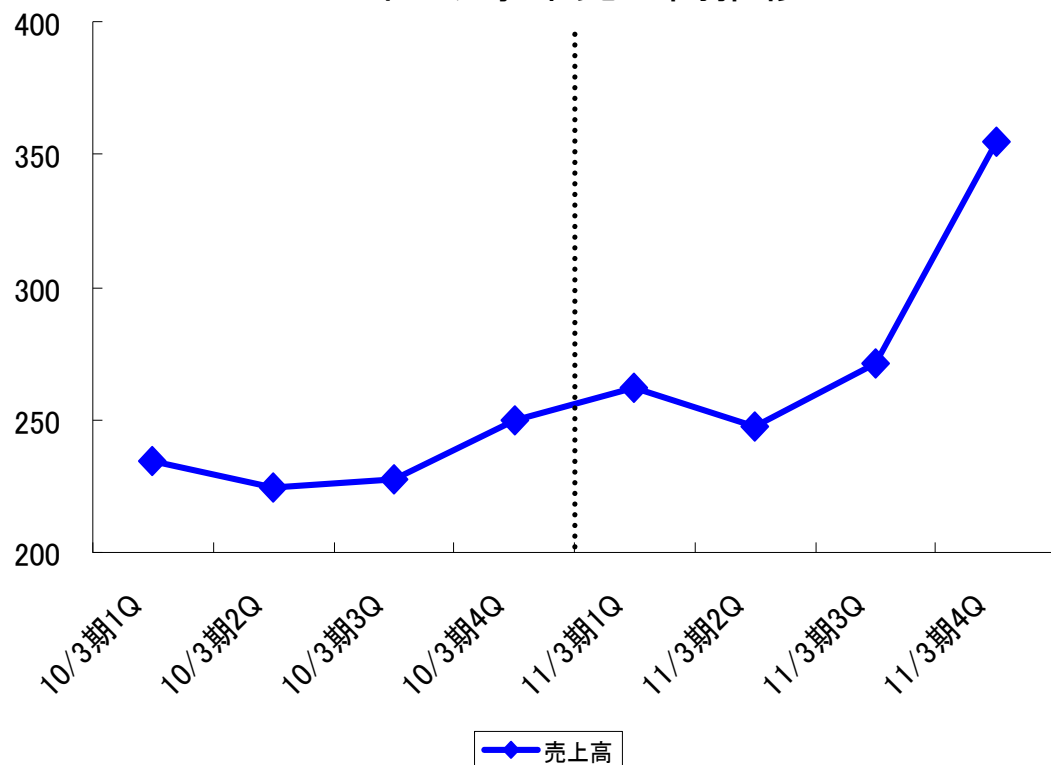
	10/3 実績	11/3 実績	伸び率
国内	1,730	2,099	21.3%
海外	116	1,649	1313.5%
総合計	1,847	3,749	103.0%

I .11/3期実績 — フィルタ事業概況 —

- 国内における設備投資意欲の上昇に伴い、国内向けの売上高が増加。
- タイの生産拠点TSMで扱う石油掘削用フィルターは停滞が続く。第4四半期より売上高が増加。
- 輸出については増加し、海外売上高は前年比増となる。

単位：百万円

フィルタ事業売上高推移



国内外別売上高推移

単位：百万円

	10/3 実績	11/3 実績	伸び率
国内	730	825	13.1%
海外	207	311	50.3%
総合計	937	1,136	21.3%

I .11/3期実績 – セグメント別P/L –

単位:百万円

	10/3			11/3		
	売上高	経常利益	利益率	売上高	経常利益	利益率
ネットシェイプ	4,103	△ 342	△ 8.4%	5,415	271	5.0%
アッセンブリ	1,847	△ 137	△ 7.5%	3,749	300	8.0%
フィルタ	937	61	6.6%	1,136	109	9.6%
連結計	6,887	△ 419	△ 6.1%	10,301	681	6.6%

➤米系部品メーカー向けの精密鍛造品量産の延期による影響あり。

➤金型部門の収益は大幅に改善。

➤国内、タイ双方の拠点の生産が高まったことにより収益性が上がる。

➤TSM低迷の影響はあるが、国内拠点がカバー。

* 百万円未満切り捨て。

I .11/3期実績 — 売上原価 —

連結

単位:百万円

	10/3 実績	比率	11/3 実績	比率
売上高	6,887	100.0%	10,301	100.0%
材料費	1,815	26.4%	3,520	34.2%
製品仕入	355	5.2%	434	4.2%
外注加工費	713	10.4%	976	9.5%
補助材料費	307	4.5%	400	3.9%
人件費	1,690	24.5%	2,012	19.5%
減価償却費	470	6.8%	451	4.4%
在庫増減	△ 106	△ 1.5%	195	1.9%
その他	504	7.3%	520	5.0%
売上原価	5,963	86.6%	8,120	78.8%
売上総利益	923	13.4%	2,181	21.2%

材料費

➢アッセンブリ事業の売上高増加により、材料費比率が上昇。

人件費の増加

➢前年度は、コスト抑制緊急対策を行う。

* 百万円未満切り捨て。

連結

単位:百万円

	10/3 実績	比率	11/3 実績	比率
売上高	6,887	100.0%	10,301	100.0%
荷造・運賃	88	1.3%	132	1.3%
旅費交通費	88	1.3%	85	0.8%
人件費	680	9.9%	751	7.3%
減価償却費	87	1.3%	81	0.8%
賃借料	40	0.6%	39	0.4%
その他	351	5.1%	388	3.8%
販売・管理費	1,336	19.4%	1,478	14.3%

人件費の増加

➤前年度は、コスト抑制緊急対策を行う。

その他の増加

➤寄付金等の増加による。

連結

単位:百万円

	10/3 実績	11/3 実績	増減
現金預金	1,413	1,697	284
受取手形	632	932	299
売掛金	1,769	2,173	404
たな卸資産	1,167	1,563	396
その他	160	181	20
貸倒引当金	△ 3	△ 4	0
流動資産計	5,139	6,543	1,404
有形固定資産	5,170	4,931	△ 238
無形固定資産	61	99	38
投資その他の資産	833	796	△ 36
固定資産計	6,064	5,826	△ 237
繰延資産計	1	0	△ 1
資産合計	11,205	12,370	1,165

売掛金・たな卸資産の増加

➤売上高増加による。

有形固定資産の減少

➤設備投資抑制による。

* 百万円未満切り捨て。

* 増減は、11/3実績と10/3実績との差

I .11/3期実績 – B/S:負債・純資産の状況 –

連結

単位:百万円

	10/3 実績	11/3 実績	増減
買掛金	607	881	273
短期借入金	1,687	2,216	529
未払法人税等	40	60	19
賞与引当金	115	132	17
その他	321	502	181
流動負債計	2,771	3,793	1,021
社債	1,000	1,000	0
長期借入金	891	550	△ 341
その他	97	78	△ 18
固定負債計	1,988	1,628	△ 359
負債計	4,760	5,422	662
資本金	1,429	1,429	0
資本剰余金	1,192	1,192	0
利益剰余金	3,627	4,096	468
少数株主持分	264	328	63
その他	△ 70	△ 99	△ 28
純資産計	6,444	6,948	503
負債・純資産合計	11,205	12,370	1,165

買掛金の増加

▶売上高増加による。

その他の増加

▶未払金、未払消費税等の増加による。

* 百万円未満切り捨て。

* 増減は、11/3実績と10/3実績との差

連結

単位:百万円

	10/3	11/3	増減
営業活動によるCF	270	514	243
投資活動によるCF	△ 321	△ 358	△ 36
財務活動によるCF	△ 230	129	359
現金及び現金同等物の増減額	△ 259	283	543
現金及び現金同等物の期首残高	1,320	1,060	△ 259
現金及び現金同等物の期末残高	1,060	1,344	283
FCF	△ 51	156	207

営業活動によるCF

➤ 前期損失計上から大幅な増益による。

* 百万円未満切り捨て。

* 増減は、11/3実績と10/3実績との差

連結

単位:百万円

	08/3 実績	09/3 実績	10/3 実績	11/3 実績
設備投資額	759	524	426	370
減価償却費	625	633	557	532

➤ 期末配当を当初予想の3円から6円に修正。年間9円の配当を予定。

	第2四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
9年3月期	8.00	0.00	8.00
10年3月期	0.00	0.00	0.00
11年3月期	3.00	6.00	9.00

- 当社の主要顧客業界である国内自動車産業では、平成23年3月に発生しました東日本大震災により、完成車メーカーの生産が著しく停滞しており、それが当社グループに与える影響について現段階で合理的に算定することが困難な状況にあります。
- したがいまして、次期の見通しについては、未定とさせていただきます。継続して情報収集に鋭意努め、それらを慎重に精査し、発表が可能となった時点で、速やかに発表いたします。
- なお、配当予想についても、次期の見通しと同時発表とさせていただきます。

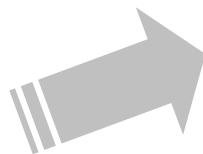
Ⅱ. 中期経営計画

Ⅱ. 中期経営計画 — 3年後に目指す姿 —

3年後

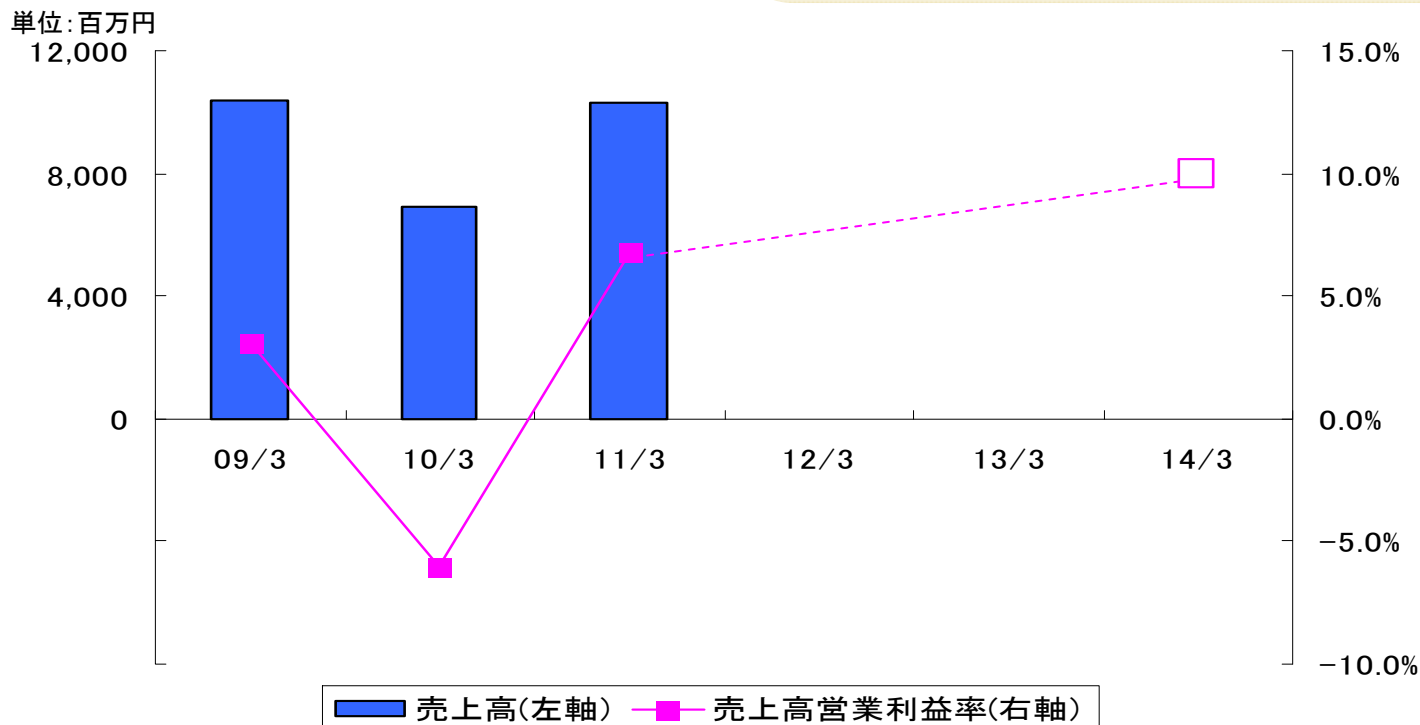
現在(11/3期実績)

売上高: 103億円
 営業利益率: 6.8%
 海外売上高比率: 24.6%



目指す姿

- 売上高営業利益率10%の達成
- 海外売上高比率 30%以上
- 3年以内に新事業の創出



➤ 戦略のポイント① 海外展開への対応

国内の主要顧客は、アジア地域を中心にさらなる海外展開を推進。それにいかに追随するかが課題となる。

ネットシェイプ事業

- ・国内主要顧客の海外展開を念頭におき、営業における国内外の連携を強化。
- ・金型、部品量産の生産拠点を念頭においたアジア戦略の推進。

アッセンブリ事業

- ・タイのNDTにおける現調化の推進。
- ・量産拠点としてNDTの役割を明確にする。



←ニチダイタイランド(NDT)

↓タイシンタードメッシュ(TSM)



フィルタ事業

- ・タイのTSMにおける、石油掘削用フィルター以外のフィルター生産体制の確立。
- ・TSMは、量産製品の生産拠点およびアジア地域の市場開拓拠点としての役割を担う。

➤ 戦略のポイント② 技術開発の推進および新領域の開拓

「他社ではできない製品と他社の追随を許さない高い技術力」を追求し、新市場創出を目指す。

ネットシェイプ事業

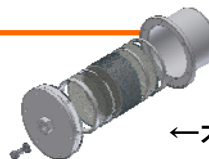
- ・精密鍛造分野のさらなる強化を目的に技術・開発本部を新設。
- ・精密鍛造分野の新工法、新製品の開発を進め、多様な産業分野での応用を模索する。

アッセンブリ事業

- ・国内子会社ニチダイプレシジョン株式会社を生産技術、研究開発を担う拠点として役割を明確にする。

フィルタ事業

- ・オゾン分解フィルターなどの新製品の拡販。
- ・焼結技術の応用分野を広げ、フィルター製品以外の新用途、新市場の確立を目指す。



←オゾン分解フィルター

➤ 戦略のポイント③ QDC改善による製品競争力の強化

成長鈍化が予想される国内市場に対して、製品付加価値および「顧客満足度」を向上させることによる需要の取り込み。

ネットシェイプ事業

・設計、生産から販売までのバリューチェーン全体を見直すことにより、QDCの大幅な改善ひいては製品競争力の強化を目指す。



アッセンブリ事業

・サプライチェーンマネジメントの強化により、リードタイム短縮を図り、効率性を高める。

本日は、ありがとうございました。

株式会社 ニチダイ

NICHIDAI CORPORATION

- ・ 本資料は、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定等に基づいて作成しております。
- ・ 従いまして、様々な不確定要素が内在しており、結果的には実績が見通しと異なる場合があります。

IR窓口：経営企画室／紺野

Tel : 0774-62-3485

Fax : 0774-65-2301

E-mail : konno@nichidai.co.jp